（　外来　・　往診　）※投与実施届出書

※該当するものを囲う

様式２

　　令和　　　　年　　　月　　　日

愛知県感染症対策局感染症対策課　宛

１　ご希望の中和抗体薬の種類（該当するものを囲う）

ロナプリーブ　・　ゼビュディ　・　ロナプリーブ及びゼビュディ両方

２　投与実施医療機関について

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 医療機関名 |  | | | |
| 郵便番号 |  | | | |
| 住所 |  | | | |
| 電話番号 |  | | | |
| メールアドレス |  | | | |
| 担当部署 |  | | 担当者名 |  |
| 病床数 |  | 床 | | |

３　連携する医療機関について（複数ある場合は、枠を増設しそれぞれの役割を記載する）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 医療機関名 |  | | |
| 住所 |  | | |
| 電話番号 |  | | |
| 担当部署 |  | 担当者名 |  |

４　24時間以内の患者の病態の悪化の有無を確認できる体制

　　（連絡先、担当者、悪化時の対応フロー等を具体的に記載）

【記入例】

・投与から1時間は、診察室（往診の場合は患者自宅）で○○（医師又は訪問看護師など、該当する方の職種を記入）が直接観察

・1時間経過後は、患者に連絡先（日中：XXX-XXXX、時間外：YYY-YYYY）を知らせ、投与から24時間までの間に悪化した場合には、その番号にかけるよう、伝える。

・患者から病態悪化の連絡があった場合には、○○が病態を確認し、入院を検討する必要があると判断した場合には、△△（連携医療機関）に連絡をとり、受診を依頼すると同時に、消防に救急要請し、患者の搬送を依頼する。

５　投与後に副作用等が生じた場合に、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和３５年法律第１４５号）に基づく報告を行う医師

６　（往診の場合）往診可能な地域（範囲）